

— 上野原市主催 —



日本語教室

パートナー募集 (×切7/10)

地域に住む様々な人と知り合えます

日本語で楽しくおしゃべりしましょう

みなさんの生活情報が役に立ちます

ひとりひとりが持っている多様な文化が身近に感じられる場です



地域日本語教室とは？

- ・地域に住む外国人が日本語コミュニケーション能力を高める場
- ・対話を通じて互いを知り合う場
- ・相互の文化や価値観を理解し合う場

📍上野原市日本語教室📍
9月頃スタート予定

パートナーの役割って？

教室に参加する外国の方と日本語でおしゃべりします。自身の経験や生活情報を分かち合って、皆さんで住みやすい地域づくりと多文化共生社会に貢献する住民ボランティアです。

※日本語を専門的に教えていただく役割ではありません。

パートナーの条件は？

興味がある方なら国籍、年齢、経験、外国語能力の有無を問わず、どなたでも参加できます。〈市内在住・在勤者〉ただし、パートナー研修 (全5回) の受講が必要です。

※研修内容は裏面をご覧ください。

パートナー研修会(無料)

土曜日：13:00～16:00
オンラインミーティング(ZOOM)
2023年7月15日、22日、29日
8月5日、19日
(7月29日のみ山梨学院大学を会場に実施)

📺 ZOOM接続お試し会 7月9日(日) 15:00
(接続やZOOM操作が不安な方ご参加ください)

研修会内容

7月15日(土)

第1回

「わたしたちのやまなしを知る

～多様な人々がともに暮らす地域づくりに向けて～

山梨県内には多様な言語・文化をもつ方が生活しています。多様な人々がともに暮らす地域づくりに向けて大切なことは何でしょうか。この回では、日本語学習者の背景にある社会状況を知るとともに「文化理解」や「多文化共生」の捉え方について体験的に考えます。

金丸 巧(山梨学院大学グローバルラーニングセンター特任准教授)

7月22日(土)

第2回

「多様な人とのコミュニケーションを考える

～待つ・聴く・対話する～

私たちの地域に来た様々な背景を持つ外国人の方とどのようにコミュニケーションをとったら「同じ市民」としてつながることができるのでしょうか。シアターワークを取り入れたワークショップを通して「待つ・聴く」を体験し、外国人とどのように向き合い、耳を傾け、心地よく対話できるかを考えます。

中山 由佳(山梨学院大学グローバルラーニングセンター特任准教授)

7月29日(土)

第3回

「やさしい日本語ではなそう

～あなたとわたしをつなぐことばの実践～

山梨学院大



やさしい日本語とは、どんなことばでしょうか。ふだん使っている日本語をやさしい日本語にかえるためのポイントを学び、相互理解を図る対話に必要な相手に合わせた日本語の話し方を一緒に考えます。

小林 信子(ユニタス日本語学校非常勤講師、山梨外国人 인권 ネットワーク・オアシス所属)

8月5日(土)

第4回

「地域日本語教室とパートナーの役割

～わたしらしさを見つめて～

多様な人々が集まる地域日本語教室の在りようは様々です。今回の研修では山梨県内外の日本語教室で行われている実践の様子を知り、“わたしらしい”かかわり方を探ります。自分らしさを活かした活動とは？地域における日本語教室の意義とは？皆さんで考えていきましょう。

古屋 玲子(山梨県国際交流協会地域日本語教育総括コーディネーター)

8月19日(土)

第5回

「多様な人々がともに暮らす地域づくりのために
私たちができること」

多様な人々がともに暮らす、多文化共生の地域づくりのためにできることは何でしょうか。最終回では、これまでの研修で考えてきたことをいかしながら、理想の地域像を目指して、私たちだからこそできるパートナー活動を考えます。

金丸 巧(山梨学院大学グローバルラーニングセンター特任准教授)

【注意事項】

カリキュラム改善及び文化庁等への事業報告を目的として、講座の様子を録音、録画する場合があります。また、研修内でのアンケートや振り返りデータを使わせていただきます。データは個人が特定されない形で山梨県及び文化庁に提出するとともに、事業報告会等での発表に使用する可能性があります。ご理解、ご了承の上、ご参加くださいますようお願いいたします。